

農作業特報

黒 部 市
黒 部 市 農 業 技 術 会 議

水稻の生育は概ね順調に推移しています。今後は根量を増やし、過剰な分けつを抑えるため、「溝掘り・中干し」を実施しましょう。

1 中干しに入る前に、確実に排水ができる溝を作る

中干しやその後の間断かん水を効率的に行うため、早急に溝掘りを行いましょう。

- ① 土が軟らかいと掘りにくいので、事前に軽い田干しを行う。
- ② 溝は5mに1本を目安とし、水がたまっているところを重点的に掘る。
- ③ 枕地側の短辺にも溝を掘り、長辺に掘った溝と確実に連結する。
- ④ 溝は水尻に確実に連結する。



溝がしっかり残っている。



土が軟らか過ぎ、形が崩れている。

2 中干しは、田植後1か月以内を目途に開始する

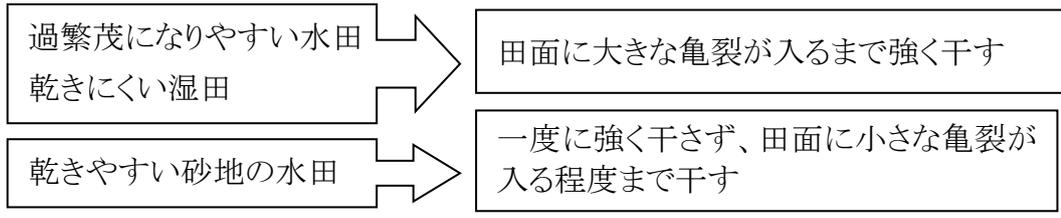
中干しは田植後1ヶ月以内を目安に、田植えの早いほ場から開始しましょう。

【中干しの効果】

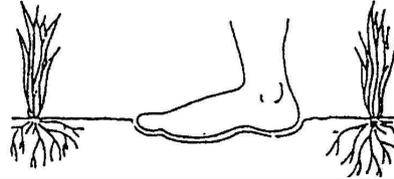
- ① 土壌中の有害ガスを除去し、根の生育を健全にする。
- ② 過剰な分けつの発生を抑える。
- ③ 葉が立ち、稲の受光姿勢が良くなる。
- ④ 田面が硬くなり、コンバイン作業に備えることができる。

【中干しの程度】

中干しは5～7日間程度行い、田面に小さな亀裂が入り、足跡がつく程度まで干しましょう。



足跡が残る程度



3 中干し後の水管理

しっかり田んぼが干せた後は、幼穂形成期頃(7月上旬頃)まで「**間断かん水**」を行いましょう。

4 エスアイ加里の施用

ケイ酸やカリは稲体や根の活力を高め、背白・基白粒の発生を軽減する効果があります。作付前に土壤改良資材を施用していない場合や基肥一発肥料を使用している場合は、追肥で補いましょう。

肥料名	施用時期	施用量
エスアイ加里特号	6月20日頃～	15kg/10a

5 後期除草剤の散布

初中期一発剤や中期剤の散布後も雑草が残った場合は、雑草の種類に応じた後期剤を散布しましょう。

【雑草が残った場合】

適用雑草	除草剤名	散布量	散布時期	注意事項
ノビエのみ	クリンチャー 1キロ粒剤	1.5kg /10a	田植後25日～ ノビエ5葉期まで (収穫30日前まで)	5cm程度の深水にして散布し、その後7日間は止水管理とし、落水やかけ流しをしない。
	トドメMF乳剤	200 ml /10a (100%に希釈)	田植後14日～ ノビエ7葉期まで (収穫50日前まで)	落水散布を基本とするが、湛水散布も可能。散布後 2 週間程度の残効が期待できる。
広葉雑草	バサグラン 粒剤	3～4kg /10a	田植後15～50日 ※クログワイは田植え 後15～35日まで (収穫60日前まで)	落水し、田面が湿った状態で晴天を選んで散布する。散布後3～4日間は水を入れない。イネ科雑草以外に効果あり。

※この他の除草剤等については、農協や振興センターにご相談ください。